

平成25年度

大分インターハイ東京都選手団の展望

文責 強化委員長 小林 隆雄

今年の南関東大会は、6月14日から17日まで埼玉県熊谷市文化スポーツ公園陸上競技場で行われた。その結果、東京都を代表して大分で行われるインターハイへ出場するのは、男子が延べ27種目と1チーム、女子は延べ32種目と4チームである。(インターハイ出場者一覧参照)

インターハイ出場種目数としては、男子は昨年度より若干減らしたものの、女子は個人種目で8種目も増やすことができた。優勝種目も男子はわずか4種目にとどまったが、女子は9種目と南関東4都県中最多とした。

これらの要素から、今年の大分インターハイでは女子の活躍が大いに期待できる。昨年の新潟インターハイでは、東京高校が東京都の高校として50年ぶりの全国総合優勝を果たしたのをはじめ、白梅学園が総合7位と健闘した。

今年も、田園調布学園3年の伊藤 明子を筆頭に、全国ランキング上位に東京都の女子は顔を揃えているだけに、昨年以上の成果を上げるものと期待する。逆に男子は苦戦が強いられるだろう。しかし、全国ランキングで上位に位置している選手も多数いるだけに、是非とも「強い！東京都」を目指し、全国大会までにしっかりと調整し万全のコンディションで大分に出向いてもらいたい。

インターハイに出場する皆さん！ 東京国体・東京オリンピックに負けないくらいの盛り上がりで暴れましょう！

☆インターハイで活躍が期待される高校ランキング上位者(6.28現在)

男子	100m	10"48	200m	21"36	大嶋 健太(東京1)	100m高	1歴代2位
	1500m	3'52"29			岡田 健(久我山2)	世界ユース出場	
	5000m競歩	20'48"05			山口 壱平(東京実業3)		
	砲丸投	15m72	円盤投	48m00	安藤 夢(東京2)	アジアユース出場	南関東優勝
	やり投	62m19			山田 舜(東京成徳2)	南関東優勝	
	八種競技	5411点			浅場 豊(都駒場3)	南関東優勝	
	4×400mリレー	3'14"23			八王子高校		
女子	100m	11"99	荒井 アンバー(日工大駒場2)	南関東優勝			
		12"09	エドバー イヨバ(東京1)				
		11"90	高森 真帆(東京3)				
	400m	55"77	小林 茉由(八王子3)	南関東優勝			
		55"81	香坂 さゆり(白梅学園3)				
	800m	2'10"25	奥田 静香(東京2)	南関東優勝			
		2'10"76	北村 夢(東京3)				
		2'10"77	鈴木 菜沙(白梅学園2)				
		2'11"22	松尾 咲子(城西2)				
	800m	2'09"70	1500m	4'19"20	ト部 蘭(白梅学園3)		
	3000m	9'15"21	谷萩 史歩(八王子3)				
	100mH	13"97	澤田 イレーネ(都文京1)				
	400mH	59"14	七種競技	5177点			
			伊藤 明子(田園調布学園3)	南関東優勝	2種目全国ランク1位		
	砲丸投	13m49	長沼 瞳(郁文館3)	南関東優勝			
		13m23	晴山 江梨花(東京3)				
	円盤投	43m27	藤森 夏実(都つばさ総合3)	南関東優勝			
	やり投	45m06	石井 崇愛(都つばさ総合3)	南関東優勝			
	七種競技	4888点	澤田 珠里(白梅学園2)				
		4698点	高橋 このか(白梅学園1)				
	4×100mリレー	46"29	東京高校				
		47"39	八王子高校				
	4×400mリレー	3'43"67	東京高校				
		3'46"93	八王子高校				

☆活躍する東京都出身選手 「健闘と活躍を祈ります」

世界陸上 ロシア・モスクワ 8月10日～18日

男子200m 小林 雄一（NTN） 保善高校出身

アジア選手権 インド・プネー 7月3日～7日

男子200m 小林 雄一（NTN） 保善高出身 男子800m 横田 真人（富士通） 立教池袋高出身

男子100m 川面 聡大（ミズノ） 都高島高出身 女子短距離 藤森 安奈（青山学院大学） 東京高出身

東アジア選手権 中国・天津 10月9日～12日

男子200m ケンブリッジ 飛鳥（日本大学） 東京高校出身

ユニバーシアード ロシア・カザン 7月7日～12日

男子200m 原 洋介（日本大学） 東京高校出身

アジア・ユースゲームス 中国・南京 8月19日～22日

男子円盤投 安藤 夢 （東京高校2年生）

世界ユース ウクライナ・ドネツク 7月10日～14日

男子3000m 岡田 健（國學院久我山2年生）

以上